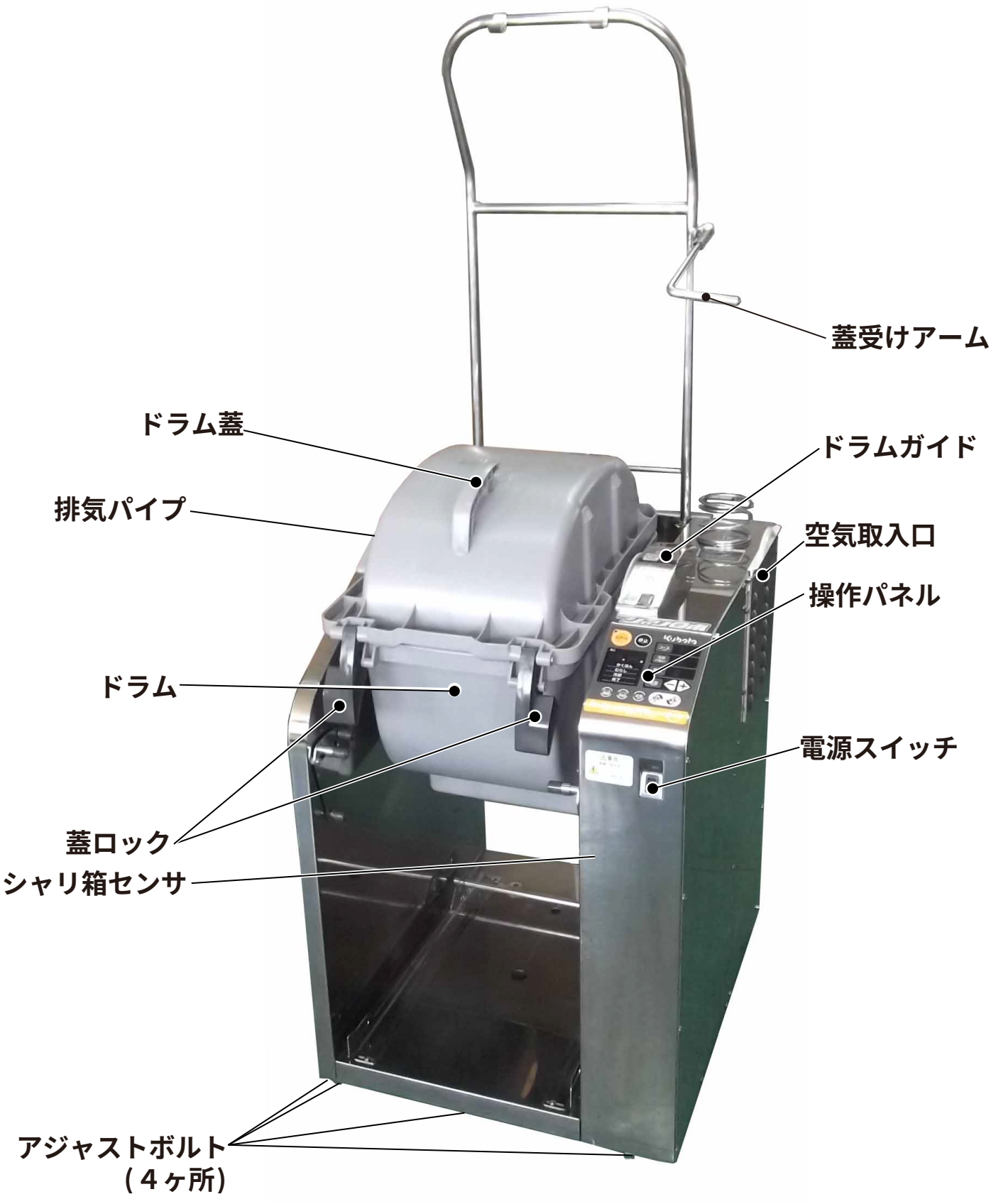
機器の用途／各部のなまえ

機器の用途

本製品は、お酢とご飯を混ぜて冷却し、酢飯を自動で製造する機械です。

各部の名前



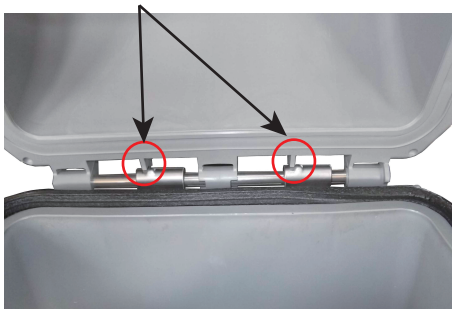
日常のお手入れ

ドラム・ドラム蓋・撹拌羽根・酢箱・フィン・パイプフタの清掃(毎回)

取り外し

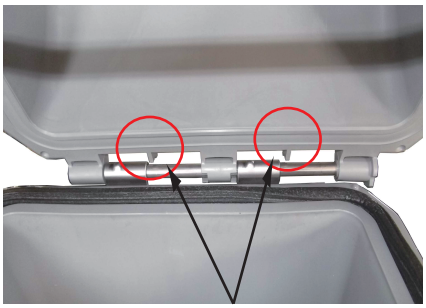
1 蓋ロックを外し、ドラム蓋を外す。

> ⚠ 注　意
> ・ドラム蓋を外すときは、両手でしっかりもって行ってください。



蓋を開けて、軽く持ち上げながら右方向にずらし、蓋を下方向に外してください。

※ドラム蓋を右方向にずらす時は、ドラム蓋が蓋受けアームにあたらないように蓋を開けすぎないでください。



2 電源を切る。

> ⚠ 注　意
> ・必ず電源を切り、プラグを抜く。
> (電源を切るとドラムが回転しやすくなります。)

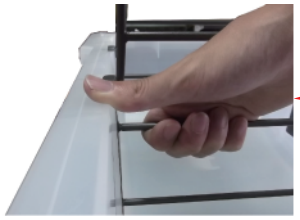
3 ドラムガイドを開けて、ドラムを外す。



> ⚠ 注　意
> ・ドラムを外すときは、両手でしっかりもって行ってください。

4 ドラム蓋を安定した台に置き撹拌羽根を外し洗ってください。
ドラム蓋の羽根を外すときは、手前側から左右片側づつ下記①～③の手順で外してください。

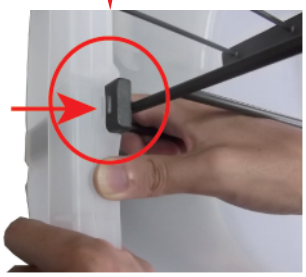




②親指をドラム蓋に押し当てるように羽根を外してください



①ドラム蓋を持ち、もう片方の手で羽根を外してください



③凸部をドラムより外してください

> ⚠ 注　意
> ・羽根を外す際は、ムリに抜かないでください。
> 羽根を強い力で抜くと反動で羽根をぶつけてけがをしたり転倒する恐れがあります。

日常のお手入れ

5 ドラムより撹拌羽根、酢箱、フィン、パイプフタ、パッキンを外し洗ってください。
洗浄後は、十分に水切りを行った後清潔な布で水気を拭き取ってください。



⚠ 注　意

- 羽根を外す際は、ムリに抜かないでください。
  羽根を強い力で抜くと反動で羽根をぶつけてけがをしたり転倒する恐れがあります。
- 中性洗剤使用時は、保護手袋を装着してください。
- 洗浄後は、残留物が無いことを十分確認してください。

重　要

- 酸性・アルカリ性の洗剤、クレンザー(みがきこ)は使用しないでください。
- 柔らかいスポンジで洗ってください。
  金属たわし、ナイロンたわしは使用しないでください。
- お湯を使用して清掃を行わないでください。

取り付け

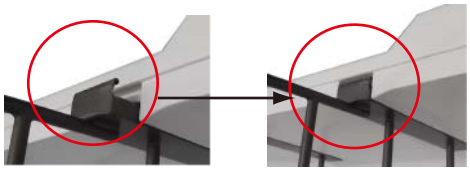
6 ドラム蓋を安定した台に置き、下図の要領で取り付ける。



・羽根を軽く差し込み、ドラム蓋を支えながら
羽根の両端を押し込んでください。

重　要

- 撹拌羽根は、確実に取付けてください。
  機械の故障の原因となります。

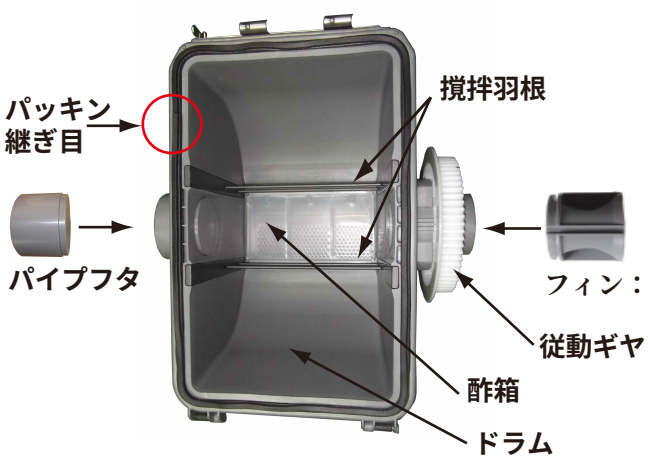


・ドラム蓋と面が同一となるように確実に押し込む。

日常のお手入れ

7 ドラムに撹拌羽根、酢箱、フィン、パイプフタ、パッキンを取付ける。

・ドラムに撹拌羽根を取付ける前に酢箱を取付けてください。
・撹拌羽根を６同様に確実に取付けて下さい。
・清掃時に従動ギヤが外れた場合は、２１ページ駆動ギヤ・従動ギヤの清掃の取付の手順で取付けてください。



重　要

・パッキンは、よじれないように入れ、継ぎ目は両端面を隙間なく合わせ必ず左図矢視位置にしてください。継ぎ目の位置を合わさないと酢が漏れます。

8 ドラムを本体に取付け、ドラムガイドを閉めロックする。



⚠ 注　意

・ドラムを取付けるときは、送風口、排気口、撹拌羽根は、持たないでください。手を挟まれたり部品が落下する危険があります。



9 ドラム蓋を取付ける。

・取り外しの逆の順序で取付けてください。

重　要

・パッキン保護の為、作業時以外は、蓋ロックはしないで保管してください。

日常のお手入れ

送風口・排気口・排気パイプ・蓋受けアームの清掃(毎日)

取り外し

1 電源を切る。

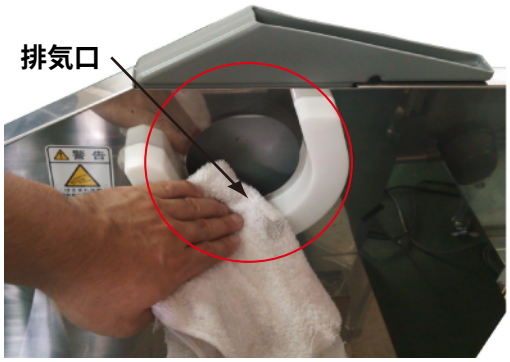
> **⚠ 注　意**
> ・必ず電源を切り、プラグを抜く。
> (電源を切るとドラムが回転しやすくなります。)

2 ドラムガイドを開けて、ドラムを外す。

> **⚠ 注　意**
> ・ドラムを外すときは、両手でしっかりもって行ってください。

3 送風口・排気口・蓋受けアームを清潔な布で拭き取ってください。







4 排気パイプを外して、洗ってください。



・排気パイプを軽くつまみ、上方向に引き抜いてください。

> **⚠ 注　意**
> ・中性洗剤使用時は、保護手袋を装着してください。

> **重　要**
> ・酸性・アルカリ性の洗剤、クレンザー(みがきこ)は使用しないでください。
> ・柔らかいスポンジで洗ってください。
> 金属たわし、ナイロンたわしは使用しないでください。
> ・お湯を使用して清掃を行わないでください。

取り付け

5 取り外しの逆の順序で取付けてください。

・排気パイプ取り付け時は、奥までしっかり差し込んでください。

日常のお手入れ

フィルターの清掃(週1回)

1 空気取り入れ口のフィルターを引き抜いてください。

2 水洗いし、乾燥させてから取付けてください。





「マエ」刻印側が本機内向きになるようにフィルターを取付けてください。

重　要

・工場出荷状態で、２００回運転をすれば時間表示部に Ｆ－ＣＬ の表示が出て、フィルター清掃の時期が表示されます。フィルターを清掃し、停止キーを押すと通常表示に戻ります。２００回は工場出荷設定回数です。１週間の運転回数を目安に、販売店にフィルター清掃回数変更を申し込みください。

駆動ギヤ・従動ギヤの清掃(週1回)

取り外し

1 電源を切る。

⚠ 注　意

・必ず電源を切り、プラグを抜く。
（電源を切るとドラムが回転しやすくなります。）

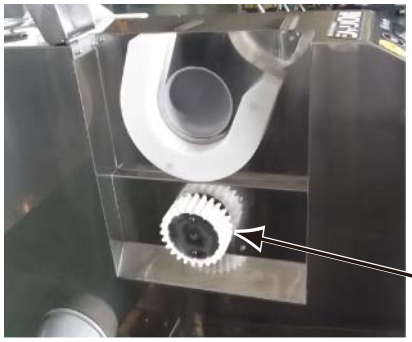
2 ドラムガイドを開けて、ドラムを外す。

⚠ 注　意

・ドラムを外すときは、両手でしっかりもって行ってください。

3 駆動ギヤ・従動ギヤを外して、洗ってください。駆動軸部は、固く絞った清潔な布で拭き取ってください。







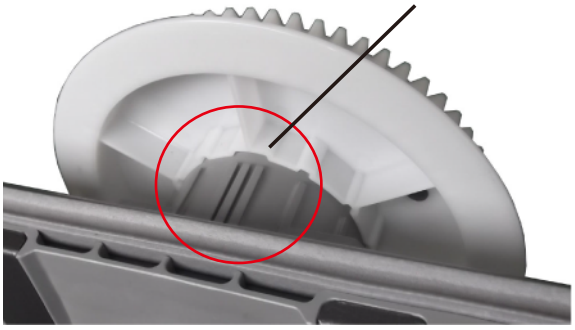
日常のお手入れ

取り付け

4 取り外しの逆の順序で取付けてください。

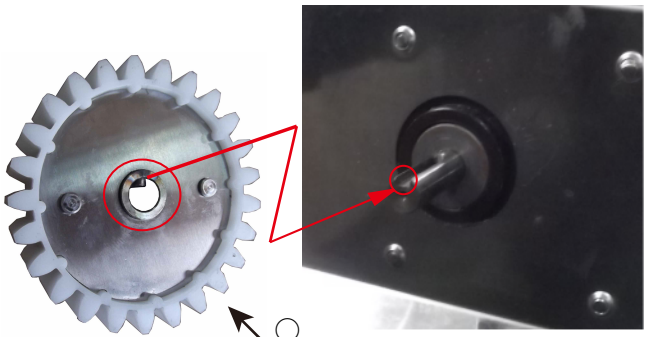
従動ギヤ取付

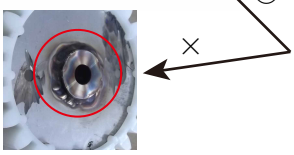
幅の広い凸凹部分同士を合わせ奥まで挿しこんでください



駆動ギヤ取付

駆動ギヤ凸部と軸凹部を合わせ奥まで確実に挿し込む





○

×

挿し込み口の大きい方を軸に挿す。

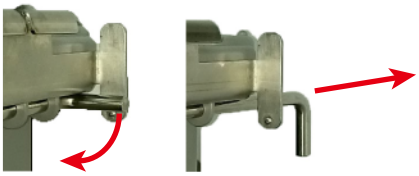
プレート(ドラムシテン)の清掃(週1回)

取り外し

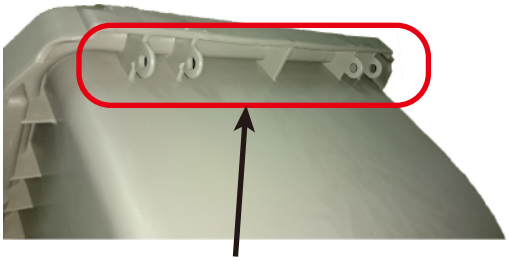
1 ドラム・ドラム蓋の清掃(P.16)を参照してドラム・ドラム蓋を外してください。

2 ドラムからプレート(ドラムシテン)を外しドラム・プレート(ドラムシテン)・シャフト(ドラムプレート)を洗ってください。

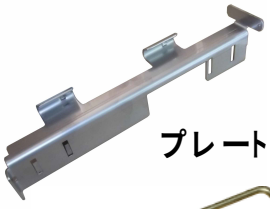




シャフト(ドラムプレート)を回して引き抜き取り外す



ドラム裏側も洗ってください



プレート(ドラムシテン)



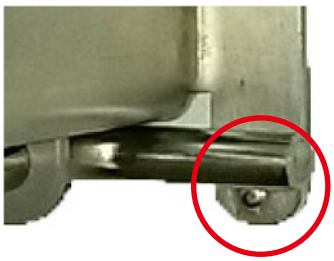
シャフト(ドラムプレート)

⚠ 注 意

- 取り外す際は怪我をしないように慎重に取り外してください。
- 中性洗剤使用時は、保護手袋を装着してください。

取り付け

3 取り外しの逆の順序で取付けてください。



シャフト(ドラムプレート)は、必ず突起部を乗り越えて取り付けてください。

確認表示について

シャリ箱確認表示



表示・時間表示部 

表示。

原因・シャリ箱が正しく置かれていない。

処置・シャリ箱をセット位置におき再度スタートキーを押してください。
直らないときは、販売店に連絡してください。

エラー一覧表

表示（時間表示部）	原因	処置
Ｅｒ１０	・撹拌動作をしているときの異常です。	・電源を切りドラム、従動ギヤ、駆動ギヤが正しくセットされていることを確認してください。再セット後、電源スイッチを入れスタートキーを押すと続きからスタートします。 それでも駄目な場合は、販売店に連絡してください。
Ｅｒ１１	・冷却動作をしているときの異常です。	
Ｅｒ０２	・排出動作をしているときの異常です。	
Ｅｒ０３	・ホーム復帰動作をしているときの異常です。	
Ｅｒ０４ Ｅｒ０６	・撹拌モータが異常を検出しています。 従動ギヤ・駆動ギヤ部に異物が挟まっている。	・電源を切り、異物を取り除いてください。 ドラム、従動ギヤ、駆動ギヤが正しくセットされていることを確認してください。再セット後、電源スイッチを入れスタートキーを押すと続きからスタートします。 それでも駄目な場合は、販売店に連絡してください。

故障かな・・・と、おもったときは

故障かな？・・とお思いのときはアフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症状	原因	処置	
電源が入らない	・電源プラグが抜けている。	・コンセントにしっかり差し込む。	
まざりが悪い	・撹拌羽根がついていない。 ・酢箱がついていない。 ・撹拌時間が短い。	・撹拌羽根をつける。 ・酢箱をつける。 ・撹拌時間を長くする。	
ネバリが強い	・撹拌時間が長い。 ・冷却時間が長い。	・撹拌時間を短くする。 ・冷却時間を短くする。	
冷えが足りない	・冷却時間が短い。 ・フィルターの目詰まり。	・冷却時間の設定を長くする。 ・フィルターの清掃を行う。	
送風しない	・冷却時間のタイマーが０で設定されている。	・冷却時間の設定をやり直す。	
シャリ排出しない	・シャリ箱が正しくセットされていない。	・シャリ箱をセットする。	
スタートしない	・完了ランプが点灯している。	・停止キーを押す。	